

武雄市立武雄中学校学校便り

叶 武



NO. 15 令和元年10月4日

〒843-0024

武雄市武雄町大字富岡11606番地

TEL 0954-22-4105

文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

《一学期が終わりました》

10月に入り、朝晩は少し肌寒く感じるようになりました。気候の変わり目は、体調を崩しやすいです。体調管理をしっかりしたいものです。本日、一学期終業式での話です。

みなさんこんにちは、まず、夏休み明けから今日までのことで紹介をしたいことがあります。それは、

8月24日・25日に行われた24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティー街頭募金活動で、3年の奥祥華さん、坂口さやかさん、前田樹里さんの3名は、猛暑の中に募金活動に協力をしてくれました。武雄市社会福祉協議会から武雄中学校にお礼状が届いています。さらに、佐賀新聞にも掲載されましたが、8月28日の豪雨災害に対してボランティアとして朝日小学校グラウンドに草木の片づけの作業に参加してくれたみなさんありがとうございました。朝日小学校の児童のみなさんからお礼の手紙が届いています。また、武雄市の浦郷教育長さんからも感謝状をいただいています。

また、先日でしたが、朝日の甘久地区の人からでした。「生徒たちはよく挨拶をしてくれるようになりましたね。」と報告がありました。というのは、「私は、北門から出たところの古賀内科の前の横断歩道のところをいつも生徒さんたちが、下校する時間帯に通るのですが、車を止めると横断した後に必ず礼をしてくれます。嬉しいですね。」また、これも先ほどと同じ方からです。「これも下校時ですが、甘久のドラモリの裏の道を通っていたら、自転車通学生が並進して走っていたので、注意をしたら、まず「すみません」と言って一列になりましたよ。」ということでした。多分強い口調で注意をされたのかと思います。心当たりの人がいるかもしれませんが、素直に「すみません」という言葉を発してくれたと思います。並進でなければなお良かったですが・・・

また、9月29日の橘小と橘町民の合同運動会の時に、地域の方から「中学生のあいさつばようしてくるっよ。」とよくあいさつをしてくれるようになったことについて話を聞きました。大変嬉しい話でした。

また、9月に入り朝日町の青少年育成町民会議の皆様が、学校見守り隊として毎週1回昼休みの時間帯に学校訪問をしていただきましたが、そのとき、「学校が落ち着いていますね。」「よく挨拶をしてくれますね」といった感想を述べておられました。ますます、武雄中学校が良くなって地域の皆様が、武雄中学校を誇りに思ってもらえるようになると思います。

昨日選手推戴式を行った本日の杵島武雄地区中体連駅伝大会では、女子のロードレースで、2年の古瀬由莉香さんが4位、1年の柚木莉奈さんが5位入賞。駅伝では、女子が1位と6位、男子が2位と11位という優秀な成績を出してくれました。男女ともAチームは、来月8日（金）に行われる県大会に出場します。応援をよろしくお願いします。

さて、4月8日に始まった1学期が、今日で終了になります。1学期はどうでしたか。短かったですか。それとも、長かったですか。短いと感じた人は、それだけ毎日が充実していたと言えるのかもしれませんが。今年は、こんなことをがんばるぞという思いや願いを持って今年度をスタートしたことと思います。どこまで達成できたでしょうか。学級で1学期の反省と2学期へ向けた目標を書いたところもあると思います。再度1学期を振り返って見てください。日々の生活、学習、部活動、学校行事等について、嬉しかったこと、楽しかったこと、いやだったこと、くやしかったこと、笑ったこと、悲しかったこと、涙したこと、がんばったこと、うまくいったこと、うまくできなかったこと、ほめてもらったこと、注意・指導を受けたこと、などなど一つ一つのことがみなさんの成長につながっているものと信じます。

学期の終わりの日です。先ほど話したように1学期の反省をすることは大事なことです。そこで、私から数点投げかけますので、自問自答をして再度反省をしてもらいたいと思います。

1つ目です。みなさん「ありがとう」と言っていますか。朝は家の人に送ってもらっている人がいますが、当たり前だと思っていないですか。朝の忙しい時間に家の人々の時間を使われているのです。「ありがとう」と言ってもらいたいと思います。

また、家族や友だちからの何気ない言葉で安心したり、元気づけられたりしていませんか。そして、時に勇気をもらったりしているのではないかと思います。

みなさんは今、自分が健康で元気でいるのは、自分だけでなく、家族や先生方、武雄中学校のみんな、地域の方々に支えてもらっているおかげだと感謝する気持ちを失わないでもらいたいということです。

まずは、「感謝する心」を常に持ってもらいたいと思います。

2つ目は、みなさんが発する言葉についてです。脳科学の研究によれば、言葉が人間の意識、つまり私たちの心と関係していることは間違いないようです。言葉の力を「言霊」ということがあります。言葉にすることで、気分が晴れるとか、モヤモヤが消えるという人もいます。これからも大いに聞き、語るとともに言葉を大事にしたいと思います。

事務室前の廊下に「一つの言葉」という詩を掲示していますが、外見や態度だけでなく、言葉も、その人となっていくはずです。人を傷つけるような強い言葉を使えば、同じかそれ以上の強さの言葉が返ってきます。これは「売り言葉に買い言葉」と言います。争いごとの始まりですね。逆に優しい言葉は、褒め言葉となるはずです。コミュニケーションではとても大事なポイントになります。「一つの言葉」を読んだことがありますか。

一つの言葉

一つの言葉でけんかして 一つの言葉でなかなおり

（裏面へ）

一つの言葉で頭が下がり 一つの言葉で心が痛む
一つの言葉で楽しく笑い 一つの言葉で泣かされる
一つの言葉はそれぞれに 一つの心をもっている
きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心
一つの言葉を大切に 一つの言葉を美しく
一つの言葉は、それぞれにひとつの力を持っている

これから、さらにグローバル社会が進展していくと言われています。そこで活躍するにはそんな「言葉の力」が大きな鍵になると思います。しっかりと言葉の意味、重みを考えて発言できるようになってください。人を傷つける言葉を使っていたら、結局は自分を傷つけることにつながっていきます。

「良き言の葉は、良きものを招き、悪き言の葉は、災いを招く」と言われます。

認める言葉、支える言葉、励ます言葉、勇気づける言葉、感謝の言葉をかけあってみんな
で認め合い、支え合い、高め合っていきたいものです。

先ほど代表の人に通知表を手渡しました。このあと、担任の先生から通知表を手渡される
と思います。通知表には、各教科の評価や担任の先生からの1学期の生活や学習についての
様子について、評価が記入されています。感謝の気持ちを持って受け取ってもらいたいと思
います。褒めてもらったところは自信を持って更に伸ばすように、反省すべき点は、素直に
反省して、2学期につなげてもらいたいと思います。

最後に、職員室の廊下に掲示している腰塚勇人さんの「五つの誓い」を読み上げます。

5つの誓い

「口」は、人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うために使おう

「耳」は、人の言葉を最後まで、聴いてあげるために使おう

「目」は、人のよいところを見るために使おう

「手と足」は人を助けるために使おう

「心」は人の痛みが、分かるために使おう

1学期をしっかり反省し、後悔しない満足いく2学期になるようにがんばってください。

《8日から修学旅行、職場体験、職業講話》

3年生は、8日から修学旅行（人吉、鹿児島方面）。2年生は、職場体験です。1年生は、8
日に銅などの非鉄金属関係の大学の先生による講話、10日に職業講話の予定です。3、2年
生は学校を離れての学習になります。学校では体験できない様々なことを自分の目で直に見て、
初めてのことを経験することになります。いろいろな意味で大変貴重な体験をすることになる
と思います。その貴重な時間を大切にしてもらいたいと思います。また、体調管理をしっかり
して参加してもらいたいと思います。